

平成30年度第2回さぬき市少年育成センター運営委員会 会議要旨（要約）

- 1 日 時 平成31年2月22日（金） 13：30～15：20
- 2 場 所 さぬき市津田支所2階 第5・6会議室
- 3 出席者〔委員〕土佐清二 竹内久司 木村彰伸 川口 一 松木聡司 福嶋信介  
山本千景 寺田文久 頼富 勉 大森郁代 濱崎典子 國方三千代  
白井邦佳 谷 幸夫  
〔事務局〕安藤教育長 中野部長 細川生涯学習課長 夏田所長 藤本専門相談員  
那須専門相談員 松井相談補助員 長尾専門補導員  
〔傍 聴〕 0名
- 4 議 題 1 平成30年度事業報告について  
2 その他
- 5 会議の内容は、次のとおりである。

発言者	意見概要
(事務局)	<p>ただ今から平成30年度第2回さぬき市少年育成センター運営委員会を開会します。開会に当たり、本日の会議の出席状況を報告します。本日の会議の出席者は14名、欠席者は1名です。欠席者1名から委任状の提出があります。さぬき市少年育成センター条例施行規則第6条第2項に基づき、過半数の委員の出席があり、会議が成立することを報告します。併せて、附属機関等の委員の構成及び会議の公開に関する指針に基づき、会議の公開・傍聴の受付を行いました。本日の会議の傍聴者はいないことを御報告いたします。</p> <p>それでは、本日の会の招集者であります運営委員長より御挨拶申し上げます。</p>
(委員長)	(挨拶)
(事務局)	さぬき市教育委員会、安藤教育長より御挨拶を申し上げます。
(教育長)	(挨拶)
(事務局)	さぬき警察署生活安全課課長福嶋様より「市内児童・生徒の現状について」の講話をお願いします。
(さぬき署)	(講話)
(事務局)	では、以降の進行は、運営委員長に議長をお願いします。
(議長)	それでは、これより議題に移ります。議題について、順次事務局より説明をお願いします。
(事務局)	<p>議題（1）平成30年度事業報告</p> <p>活動計画の概要と実施状況・・・少年補導、少年相談、 適応指導、地</p>

	域連携、環境浄化、広報啓発、研究・研修、運営に関する審議会)
	(2) その他
	「青少年の動向に関するモニター集計表」及び「FINE&ふれんど教室」 進路説明会アンケート集計報告
(議 長)	ただいま事務局から議題(1)、(2)と項目ごとに説明がありましたが、 このことについて質問等ありましたらお願いします。
(委 員)	さぬき署管内の少年非行は香川県全体と比べてどうか。
(さぬき署)	傾向としては、西の方が多く、東は少なく落ち着いているが、SNSによ る被害にあっている中学生はいる。虐待については、警察が情報を得た場 合は以前と比べ介入する。
(委 員)	補導に行くときの服装について
(事務局)	通常補導については普段の服装で、青パトにて巡回。特別補導、例えば イベント等における巡回については、腕章にベストを着用している。それ ぞれの団体やグループが分かるような服装で巡回。
(委 員)	P10、不審者が減った背景について
(事務局)	昨年出没していた不審者が逮捕されたため。不審者情報については全て 配信をしていない。18件中7件については、不審者とはいえない事案も あった。11件のみ配信。事案としては、つきまとい、無断撮影、声掛け 等である。
(委 員)	四国大会について
(事務局)	さぬき市が会場当番で、平成30年9月22日さぬき市志度音楽ホール にて開催、参加人数は493名。さぬき市においては、補導員24名参加。
(委 員)	小中学校が統合したことで何か問題はなかったか。
(事務局)	市内全地域をそれぞれ3区域に分け巡回している。日々の状況により重 点的に巡回することもあり、巡回時間を長くしている。
(委 員)	P12、校区别補導員会にて「荒野行動」というゲームの記載があるがど ういうゲームか。
(事務局)	知らない人同士がつながっていくゲーム。内容的には良くない。
(委 員)	ネットやスマホでのゲームや、情報など分からないことが多いのでし っかり研修やネット等に関する情報提供をして欲しい。 学校などで警察の方が来られての話があれば良い。
(さぬき署)	警察が出向いてネット被害に遭わないための話はしている。フィルタリ ングをすることが大事。
(委 員)	白ポストが老朽化している。特に市民病院前に置かれている白ポストは 目立つ、整備計画について教えて欲しい。
(事務局)	現在、市内12カ所に白ポストを設置。特に破損が著しく修復不可能な

	運動公園に設置している白ポストについては、新しい白ポストの作成を発注し、3月末までには納入。残り11基については31年度予算で修繕する。
(委員) (教育長)	少子化になっているのに不登校の子どもが増えていることについて 昔の様子から変わってきて、子どもにも権利があるから無理に学校へ行かせようとしめない家庭が増えている。友達からの誘いや、学校からの働き掛けに対しても拒否したり、断ったりするなど意識が変わっている。
(委員)	SNSによるいじめの情報を聞くことが多くなった。携帯利用についての研修をして欲しい。また、民生委員の方から引きこもりの人がいるかどうかという質問があった。小・中学校の頃は分かるが、高校ぐらいからよく分からなくなり、直接家庭訪問ができにくい。また、家庭内における親へのいじめ、子へのいじめ等が無職少年に見られる事がある。
(委員)	小・中学校で、どのくらい子ども達がスマホを持っているだろうか。親もスマホ教室があっても実際の参加となるとどうか、使い方はモラルの問題でもある。
(事務局)	育成センターでは、小・中学校併せてどれくらい子ども達が、スマホを持っているかは分かりかねる。さぬき市内でもスマホによるトラブルは2～3件ある。
(さぬき署)	1～2人は犯罪にあっている。警察に届けていない場合が多い。
(委員)	幼稚園の家庭教育学級でも、スマホの件については、実施した方がいいと考えている。良い講師の方がいれば教えて欲しい。
(委員)	いろいろな通信機能があるものだと8～9割の子どもが持っている。保護者の危機感が薄い。その意識をどうするかが問題。スマホで我が子の写真を撮った時に、他の子どもも一緒に入っていて、そのまま拡散されてしまう場合もある。
(委員)	中学校もスマホについては同様な状況である。 進路説明会は、とても良かった。進学したいと思っていた子どもにとっては、参考になり良い機会となった。
(委員)	問題行動が減ってきていることは良い。 スマホについては、スマホに依存し長時間使用、生活のリズムが乱れ悪循環。正しく使えていない。倫理観を伝えていかなければいけない。 自転車のマナーについては良くない。15年以前から続いている課題。職員が下校の際見回り等をして指導している。これからも警察や育成センターなどの協力を得ながら指導を続けていきたい。
(委員) (事務局)	進路説明会について 東かがわ市の「ふれんど教室」とタイアップして9月末に実施した。定

<p>(教育長)</p>	<p>時制2校とフリースクールの学校等合わせ11校が参加した。対象は学校に行けてない中学生ということで、参加者は40名近くあり、保護者と共に「個別相談」も実施。</p> <p>携帯のルールについて、平成27年にPTA・警察と連携して「さぬきっ子」の約束を作成したが、3割程度しか知らない。スマホは有効に使うことが大切。子どもは正しい判断ができないから、大人がきちんと指導していかなければいけない。買って与えて自由に使わせているのは家庭である。きちんと家庭でルールを作り、正しく使わせることに重点において欲しい。一人1台の時代がやがて来る。使用ルールをきちんと守って使って欲しい。</p> <p>委員さんをお願いしたい事として、「さぬきっ子」の約束の携帯ルールがあるということを伝えていただきたい。</p>
<p>(議長)</p>	<p>ほかに質問ございませんか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>質問なし</p>
<p>(議長)</p>	<p>意見や質問が無いようなので、以上で審議を終わります。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>(事務連絡：運営委員の任期と選出について)</p>
<p>(課長)</p>	<p>(生涯学習課細川課長閉会の挨拶)</p>
<p>(事務局)</p>	<p>以上をもちまして、平成30年度第2回さぬき市少年育成センター運営委員会を終わります。本日はご苦労さまでした。</p>